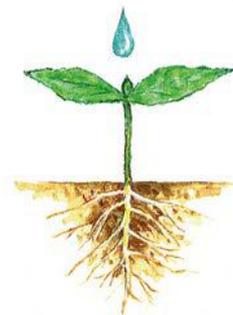


せせらぎ Se Seragi

漢方のよさ No.114号 ～漢方の流派Ⅷ～

発行日：2014年9月5日(金)
発行者：浮田 徹也



発行所：医療法人 浮田クリニック
せせらぎ
〒520-0242 滋賀県大津市本堅田 6-36-1
☎077-574-3751 ☎077-574-3792
HP: <http://www.ukita.gr.jp>
✉ e-mail: kanpou@ukita.gr.jp

暑い日々もようやく峠を越えそうです。秋の気配を感じるこのごろです。8月から漢方外来を担当する回数が増え、産科、婦人科、内科、皮膚科、心療内科、整形外科などの領域の患者さんの漢方治療をする機会が一層増えています。8月から浮田恵医師が常勤となり、産婦人科常勤医師が3人になりました。非常勤医師(産婦人科女性医師2名、不妊外来男性医師1人、小児科男性医師1名)を合わせると7名体制で診療に当たることになります。

私達は「当院の理念と基本方針」に基づいた診療を心掛けたいと思います。

理念 良心的な医療

基本方針 地域に根差し、地域医療機関と連携した24時間体制のチーム医療
患者様の立場に立った安全で質の高い西洋医学と東洋医学を両輪とした医療
健全な病院経営と優れた医療人の育成

漢方の流派Ⅷのお話です。

せせらぎ49号、57号、61号、73号、79号、87号、99号も参照してください。

日本の漢方医学は明治時代になり、極端に衰退し、学問的にはほぼ壊滅状態になりました。明治政府は西洋化・富国強兵を目指し、1895年、国会第8議会において漢方医継続願いが否決され、漢方医の子弟も西洋医学の試験に合格しなければ医師として認められなくなり、漢方医学を習得しようとする医師数は激減していきました。しかし、和田啓十郎の「医界の鉄椎」(1910年)や湯本求真の「皇漢医学」(1927年)等の著書にひかれた医師達、一般の人々の根強い支持を得た多くの薬剤師達の努力で1939年に東亜医学協会、1950年に日本東洋医学会が設立、1970年から大学や公的医療機関に東洋医学研究所や付属診療部門が開設されました。1976年には漢方E剤が薬価収載され保険診療の適応となりました。現在の日本にはいくつかの漢方の流派があります。漢の時代に張仲景が作ったと言われる「傷寒論」を聖典とし、医学の原点とする古方派、宋金元医学を基礎とする道三流学派の後世派、論理より実用性を重視し、臨床第一とし、古方や後世方や蘭学を結合させた立場をとる折衷派、陰陽虚实、五臓六腑等の中医学理論に基づき従来の医学論理を統合した中医派などです。当院は、「古方を主とし、その不足を後世方を以って補う」折衷派の漢方診療を行っています。

では**実例**に移ります。

48歳女性、1ヶ月前、**めまい**、嘔吐、頭痛を自覚。耳鼻科、神経内科受診し、腫瘍や脳梗塞など否定された。症状が続くため来院。155m、55kg。頬は紅潮、腹は硬く、両側腹直筋緊張、胸脇苦満、臍傍圧痛、舌淡紅色、乾薄白苔、舌下脈怒張。脈弦緩。



ウィーズ教会



主祭壇



主祭壇のキリスト像

ウィーズ教会 正式名を「ウィーズにある鞭打たれる救世主への巡礼教会」という。ウィーズに住む農民夫婦が1738年、シュタインガール修道院の屋根裏に放置されていた1体のキリスト像を譲り受け、毎日熱心に祈りを捧げていたところ、ある日突然、このキリスト像が涙を流すという奇跡が起こった。その後、多くの巡礼者が集まるようになり、ツィマーマン兄弟によってロココ様式の傑作と称えられるこの教会が建てられた(1754年)。内部は色鮮やかな天井画、細やかな彫刻が施された柱、彫刻とフレスコ画が調和した「キリスト像」を安置した主祭壇が素晴らしい。今では、周辺住民だけでなく世界各地から祈りを捧げに多くの人々が訪れている。

そこで、柴胡桂枝湯+桂枝茯苓丸(めまいの症状が激しい時、苓桂朮甘湯を併用)を処方。1ヶ月後、体の緊張感が取れ症状減少。3ヶ月後、症状ほぼ消失。処方量を1/2に減量。4ヶ月後廃薬。

50歳女性、**肥満**、高血圧(160/96)、下肢のむくみ、便秘(1/4日)、156cm、65kg。顔は両頬やや赤く、お腹の硬さは中程度、心下痞硬、臍上悸、両側臍傍抵抗圧痛。脈は浮弦数。舌、淡紅紫色、乾薄白黄苔、舌下静脈怒張。そこで、防風通聖散+通導散+桂枝茯苓丸を処方し、運動と食事指導を行う。2ヶ月後、150/95、便通1/2日、体重65kg、下肢浮腫不変。更に、五苓散を追加処方。4ヶ月後、150/95、便通1/日、体重64kg、下肢浮腫やや軽減。そこで、釣藤鉤を追加処方。6ヶ月後、140/90、体重63kg、浮腫軽減。1年後、130/85、体重61kg。2年後、125/80、体重58kg。5年後、125/80、体重56kg。継続中。

28歳女性(分娩後2週間)、**乳腺炎**を起こし、発熱38度、悪寒、筋肉痛(特に肩痛と頭痛)、食欲不変。左乳房に3cm大のしこりがあり、乳汁はやや黄色調。乳房マッサージ後乳汁は白色となる。3時間ごとの授乳と搾乳を指示、葛根湯+桔梗石膏を処方。乳房マッサージを連日実施。3日後しこり消失。漢方薬も廃止。

[院長]

め ま い

生命にかかわるめまい(脳梗塞、出血、腫瘍、外傷など)でなければ、漢方薬中心の治療が有効です。耳鳴り、難聴、嘔吐(悪心)、眼振、てんかん、運動障害や感覚障害の確認も大切です。発作の時は、注射や点滴や煎じ薬でめまいを早く治療すべきですが、なによりも生活、環境、食事、心の調和をとり、めまいを起こしやすい体質を漢方薬で改善することが必要です。



肥 満

肥満の判定には、BMI(体重(kg)÷身長÷身長(m))が用いられます。BMIが25以上を肥満と判定します。「内臓脂肪の蓄積」が、糖尿病、高血圧、高脂血症、脳梗塞、狭心症、脂肪肝などの合併症を発症させます。規則正しい食生活、運動、漢方薬などで、1~2kg/月の減量を目指し。特に、1口30回かむ、夕食後と就寝前の体重が変化しないことです。



乳 腺 炎

お乳が赤くはれ、痛み、発熱を伴います。時には頭痛、悪寒、食欲低下、便秘、尿量減少を伴うこともあります。乳房マッサージ、乳房の安静(冷却)、漢方薬、抗生物質、自然植物によるシップを利用しています。予防は、乳房の自己管理で、乳房と乳首の手入れを怠らず、乳汁のうっ滞や肩こりを感じる時には、当院の漢方薬(エキス剤、煎じ薬)を服用することをお勧めします。



マタニティーヨガ

マタニティーヨガのインストラクターによる教室で実施されています。4階のお部屋からの景色もお楽しみください。当院分娩の方：1000円、他院分娩の方：1500円

パソコンホームページ(<http://www.ukita.gr.jp>)

- ・トップページ(お知らせの欄、診療日程カレンダー)
- ・産科と婦人科のページ(入院、食事、各種教室、指導)(癌検診、不妊症、更年期障害)
- ・漢方治療のページ(漢方治療)
- ・各検診と予防接種のページ(健診、ブライダルチェック、予防接種)
- ・当院の施設案内、当院への交通(車、JR)

ママのご褒美エステ

プロのエスティシャンによる極上のエステを当院専用エステルームにて入院中1回提供させていただきます。

マタニティクラスのご案内 場所: 当院4階 多目的ルーム 申込方法: 申込ノートでご予約お願いします。



立会分娩ご希望の方は特にご参加をお勧めします。(申込ノートにお名前前の記入をお願いします。)マタニティクラスでは院内冊子の「HELLO BABY」にそって、お話をすすめていきます。ご夫婦でのご参加も多くご主人様もお気軽にご参加ください。参加時には「HELLO BABY」「母子手帳」を忘れずにお持ち下さい。



マタニティヨガ 14:30-16:00	9/11	9/18	10/9	10/16	11/6
前・中期-マタニティクラス 13:30-15:30	9/6	10/4	11/1	後期-マタニティクラス 13:30-15:30	9/25 10/2 10/23 11/13

当院の漢方治療

剤型

エキス漢方薬：錠剤タイプの漢方薬と顆粒タイプの漢方薬があります。

漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。25～30分煮て作ります。当院の顆粒タイプの漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気には弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも固まる場合、冷蔵庫（冷凍庫）で保管して下さい。

適応症

便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害…などすべての症状。

漢方薬のよく効く疾患

アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、下痢、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性脾炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病…

漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患

高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感、抗癌剤使用時副作用…

エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症・中程度の病気：漢方製剤（顆粒あるいは錠剤）を組み合わせで治療。
- ・重症の病気、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診（舌診）、聞診、切診（腹診と脈診）の東洋医学的診察法（四診）や検査（超音波、血液、便、尿、痰液分泌物、心電図、骨量測定…

妊婦健診 携帯またはパソコン予約

当クリニックではWEB（携帯・PC）予約システムを導入しています。午前診・午後診の「順番取り」となります。

（時間指定の予約ではありません。）

「妊婦検診」のみ予約をお取りいただけます。

妊婦健診WEB予約受付時間

午前9：15～午後12：15

午後4：45～午後6：45

ご来院窓口受付時間

午前8：30～午後12：30

午後4：30～午後7：00

※受付時間内であればWEB予約無効終了後でも来院窓口受付をさせていただきますが、予約の方が多く場合は待ち時間が長くなる事があります。

※予約の方は余裕を持ってご来院ください。



予防接種 ワクチン接種

子宮頸癌予防ワクチン、インフルエンザ、BCG、四種混合（DPT-IPV）、三種混合（DPT）、麻しん・風しん（MR）、日本脳炎、水ぼうそう、ポリオ、ロタウイルス、おたふくかぜ、Hib（インフルエンザ菌b型）、肺炎球菌ワクチン（小児用 プレベナー）（高齢者）、その他

子宮頸がんワクチンについて

子宮頸がん予防ワクチンは、子宮頸がんの主な原因となっているHPV16型・18型の感染を防ぐことにより子宮頸がんを予防することを目的としたワクチンです。現在、サーバリックスとガーダシルの2種類のワクチンが販売されています。

どちらのワクチンも3回の接種が必要です。

ガーダシルはHPV16型・18型の他に、尖圭コンジローマの原因となるHPV6型、11型を予防する効果があります。ワクチンの効果は現在も検証中ですが、最低6.4年は効果が持続すると言われています。当院でもサーバリックス、ガーダシルの子宮頸がんワクチンを行っており、お気軽にご相談ください。

アトピー軟膏健康食品（グルコサミン、コンドロイチン、のどアメ）

漢方薬（生薬）のみで作られた軟膏です。

- ・紫雲膏・太乙膏・葉酸（鉄）・靈芝・サメ軟骨・快步楽
- ・のどアメ（ハーブ イチゴ）

スーパーライザー（神経照射）

赤い温かい光（近赤外線）で血行をよくし、腰痛、肩こり、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス…などの治療に利用しています。

従業員募集

看護師、助産師（常勤、パート）、清掃業務従業員。
面接：随時、各種保険加入、賞与：年2回、交通費支給。

提携病院との密な連携診療

当院は、

- ・大津赤十字病院 産婦人科、新生児科
- ・大津市民病院 産婦人科
- ・滋賀医科大学付属病院
- ・京都大学医学部付属病院
- ・京都第一赤十字病院 産婦人科



の病院と提携していますので、妊婦さんや赤ちゃんに何かあればすぐに連携して診察に当たりますのでご安心ください。

胎児スクリーニング外来

妊娠20～24週で妊婦健診中1回20分程度時間をかけて行います。

月・水・金曜日 午後2時～4時

当院で分娩（3000円） 他院で分娩（5000円）

健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、保険証の変更は、早急に受付に連絡して下さい。

外来用診療時間	月	火	水	木	金	土	日
	午前診療(午前9時～午後12時)				乳児健診(午前10時～12時)		
産科	副院長	恵 医師	副院長	院長	副院長	副院長	—
婦人科	院長	副院長	恵 医師	恵 医師	恵 医師	恵 医師	—
漢方科	院長	院長	院長	院長	院長	院長	—
乳児健診	—	—	—	—	—	滋賀医大 小児科医	—
	産後健診・予防接種・胎児スクリーニング(午後2時～午後4時)						
産後健診	院長	—	院長	—	—	—	—
予防接種			副院長				
胎児スクリーニング	副院長		副院長		恵 医師		
	午後診療(午後4時30分～午後7時)						
産科	副院長	—	恵 医師	—	恵 医師	—	—
婦人科	院長		副院長		院長		
漢方科	院長		院長		院長		

院長：浮田徹也、副院長：浮田真吾、恵医師：浮田恵 ※女性医師外来は月曜日以外毎日対応します。

- 女性医師外来：月曜日以外毎日対応します。土曜日は京大病院からの女性医師が担当する場合があります
- 漢方外来（月～土）：内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科など全科の漢方薬による治療
- 乳児外来：毎週土曜日（午前10時30分～12時）は、滋賀医大小児科医師による健診を行います。
- 胎児スクリーニング外来：（妊娠20-24週の間に行います。外来は、月曜日・水曜日・金曜日の午後2時～4時の間。1人20分前後。予約制。）
当院分娩予約の方3000円 他院分娩予約の方5000円
- アフターデリバリーサポート（母乳相談：月～土、育児相談：月・水・土）：退院した後のママと赤ちゃんの母乳相談や育児相談をプロの助産師がサポートします。
電話予約制。
- 不妊外来（月～土）：タイミング指導やホルモン治療や漢方薬治療や精子検査を実施。1ヶ月1回（土曜日）兵庫医科大学の医師による不妊外来開始。
- 更年期外来（月～土）：ホルモン治療や漢方治療を行い総合的な診察を行います。

華 佗

後漢時代の張仲景や扁鵲と並ぶ伝説上の名医。「後漢書」方術伝や「三国志」華佗伝にその医術が載っている。沛国譙（安徽省）出身。其の医術は、内科、外科、婦人科、小児科、鍼灸などであったが、とりわけ「麻沸散」と呼ばれる麻酔薬を使った腹部手術が有名。「五禽戲」と呼ばれる中国体操療法（導引）や屠蘇の発明者と言われている。魏曹操の時病（めまいと頭痛）を治療したが、曹操の反感を買って拷問の末殺害された。弟子に、本草学で名をなした呉普や李当之がいる。



分娩予約

妊娠20週までに受付で予約して下さい。ご予約には、**分娩・入院予約申込書**が必要です。予約された方には、**入院誓約書、直接支払い制度合意書**をお渡しします。

アフターデリバリーサポート（助産師）（電話予約）

退院した後のママと赤ちゃんの母乳相談をプロの助産師がサポートします。授乳や赤ちゃんの体重の増え方、ミルクの飲み具合等について何でもご相談下さい。

母乳相談：月～土
育児相談：月・水・土



産後健診 ベビー健診（電話予約）

産後健診と1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診（有料）、4ヶ月健診（公費）をしています。

日時：毎週月、水曜日 午後2時～3時（院長）、土曜日 午前10時～12時（滋賀医大 小児科医）

分娩生活

正常分娩の場合、入院日を含め、初産婦の方は6日間、経産婦の方は5日間です。当院では立会い分娩を推奨しています（帝王切開を含む）。調乳及び飲み水は還元水を使用しています。

里帰り出産を予定されている方へ

当院は里帰り出産を受付けています。妊娠19～22週（母体と赤ちゃんの状態をチェックします）にスクリーニング外来にて診察いたしますので、ご予約をお願いいたします。当院での妊婦健診は妊娠34週から受けてください。

入院食（手作り）

厨房スタッフの作る心のこもった手作り料理です。旬の素材、味付け、メニュー…など、絶えず工夫し研究しています。パンも焼き立てを用意します。退院前日、当院4階のレストランでディナーをお楽しみください。

産科医療補償制度

分娩により重度の脳性麻痺となった児及びその家族の経済的負担を補償し、原因分析と再発防止策を講ずるための制度。当院で通院方に、登録証を発行しています（妊娠16～22週）。詳細は受付でお聞きください。